

リオ機運盛り上げに奮闘

鹿児島県のサンバ演奏チーム

ブロコ・ウルバナ・カゴシマ

今夏開催されるリオデジャネイロ五輪を盛り上げようと、鹿児島のサンバ演奏チーム「ブロコ・ウルバナ・カゴシマ」が奮闘している。ほとんど未経験から始めたメンバー12人が、19日に開催される五輪応援イベントや浅草サンバカーニバル(8月・東京)出場に向け練習を重ねている。

19日、アミュ広場でイベント

チームは鹿児島市のドラマー兼音楽プロデューサーの森田孝一郎が2014年、鹿児島に「サンバ」が定着していないことに着目し呼び掛け。公募などで中学生から70代までのメンバーが集まった。

19日、鹿児島市のJR鹿児島中央駅前アミュ広場である「ダンスカーニバル2016」にゲスト出演する。「リオ気分を盛り上げたい」と福岡、熊本、宮崎のサンパチームと「Kysuhu é uma equip e」(ポルトガル語で「九州はひとつのチーム」)を結成し、熊本、大分の地震被災者応援チームとして盛り上げる。

国内最大のサンバの祭典「浅草サンバカーニバル」にも、東京・名古屋のチームと合同で鹿児島から初めて出場が決まった。団長の森田は「熱い演奏で、パフォーマンスを見る人々も楽しめ、踊る人もみんな一つになれるステージをつくっていく」と語った。(清水優紀)



タンバリンやショカ(鈴)など独特の楽器の練習に励んでいる「ブロコ・ウルバナ・カゴシマ」のメンバー 〓鹿児島市民文化ホール